

# 「事業者間ローミング検討作業班」の 設置について

---

令和4年12月20日

事務局

## 1. 概要

- 本作業班は、「非常時における事業者間ローミング等に関する検討会」（以下、「検討会」という。）の下に開催される作業班として、事業者間ローミングに係る検討をすることを目的とする。
- フルローミング方式の実現に向け、関係者である一般社団法人電気通信事業者協会、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社、沖縄セルラー電話株式会社の担当者及び総務省にて構成員を構成。また、緊急通報受理機関やMVNOからも適時必要に応じて作業班に参加。  
※構成員は、主査の指名により、今後追加があり得る。
- 今後、検討会において「緊急通報の発信のみを可能とするローミング方式」の導入が決定された場合、作業班において課題等の検討を行う。
- 作業班における検討状況・結果は、検討会に報告。  
※作業班では、携帯電話基地局やネットワーク等に関する設備の諸元を含む技術情報や費用等を含むため、公開することにより当事者又は第三者の権利及び利益並びに公共の利益を害するおそれがあるため、議事は原則非公開とする。

## 2. 検討事項

### (1) 技術仕様

- ・機能要件・サービス仕様等

### (2) 運用ルール

- ・ローミング開始・終了の条件等
- ・事業者間の連絡手段等
- ・設備容量逼迫に係る接続規制の在り方等
- ・ローミング開始・終了時の関係機関への連絡方法等
- ・設備の障害発生部位等に基づく運用ルールのパターン分け等
- ・利用者(Visitor)の一般の通信に対する通信規制の適切な措置等
- ・ローミング開始時の障害発生状況等の携帯電話事業者間の情報連携等
- ・ローミング実施時のデータ共有等

### (3) 携帯端末の動作確認

- ・ローミング時の携帯端末の動作確認等(試験方法、実施体制、試験結果の周知広報等の在り方)
- ・専用アプリ等による切り替え対応等
- ・IoT機器の設定切替可否及び対策等

## (4) 周知広報

- ・回線切り替え時に必要な端末操作に関する周知広報等
- ・回線切り替え時に必要な端末操作利用者参加型の訓練と手法等
- ・IoT機器ベンダー等への周知等
- ・周知広報が継続的かつ効果的に行われるための具体的方策等
- ・障害発生時の障害状況の分かりやすい可視化(GISデータを用いた精度の高い提供方法)等
- ・ローミング実施時の周知広報等
- ・代替的に使用できる通信手段に関する周知広報等
- ・事業者間ローミングの実績の公表等

## (5) 事業者間精算

- ・事業者間の料金精算や利用者(Visitor)の料金・サービスの在り方等

## (6) フルMVNOとの連携

- ・フルMVNOの事業者間ローミングの枠組みへの参加に向けた提案等
- ・フルMVNOとMNO間のローミングの実現方法や費用分担の在り方等

## (7) 導入スケジュール

## (8) 導入費用

## (9) その他、検討会から検討を求められた事業者間ローミングに関する事項

## 3. 作業班体制

事業者間ローミング検討作業班における検討を効率的に行うため、作業班内に5つのワーキンググループ(WG)を設置する。また、MVNOとの検討課題に特化したタスクグループ(TG)を作業班に設置する。

非常時における  
事業者間ローミング等に関する検討会

MVNO TG

※MVNOとの検討課題に特化したTG  
※MVNOから適時必要に応じて参加

事業者間ローミング  
検討作業班

※各WG進捗管理、WG間連携フォロー、MVNOや  
緊急通報受理機関等との連携、導入スケジュール、  
導入費用、検討会への状況報告等  
※緊急通報受理機関から適時必要に応じて参加

技術仕様要件WG

運用条件・運用ルールWG

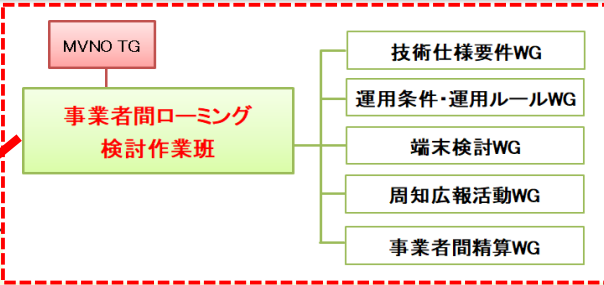
端末検討WG

周知広報活動WG

事業者間精算WG

※各課題の詳細検討

## 4. 事業者間ローミング検討作業班構成員



主査	金子 純二	(一社) 電気通信事業者協会 企画部長
副主査	竹内 宏司	(株)NTTドコモ ネットワーク本部 サービス運営部 災害対策室 担当部長
	稲垣 裕介	総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課 課長補佐
構成員	宮澤 敏記	(株)NTTドコモ ネットワーク本部 サービス運営部 災害対策室 担当課長
	小松 優	KDDI(株)技術統括本部 技術戦略本部 技術渉外部 渉外グループ グループリーダー
	前野 貢士	KDDI(株)技術統括本部 技術戦略本部 技術渉外部 渉外グループ コアスタッフ
	海崎 文隆	沖縄セルラー電話(株) 技術本部 執行役員 本部長代理
	鈴木 和幸	ソフトバンク(株) 技術企画管理本部 技術管理統括部 技術渉外部 部長
	折原 裕哉	ソフトバンク(株) 技術企画管理本部 技術管理統括部 技術渉外部 制度企画推進課 課長
	森山 史之	楽天モバイル(株) 渉外本部 副本部長
	宮下 重博	楽天モバイル(株) 渉外本部 技術渉外室 シニアテクニカルマネージャー
	佐々 淳一郎	楽天モバイル(株) 渉外本部 技術渉外室 テクニカルエキスパート
	飯島 佳之	総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課 専門職

※必要に応じて総務省総合通信基盤局の関係課室の職員が構成員として参加する。

## 5. 各ワーキンググループ

- 技術仕様要件WG
  - ・機能要件・サービス仕様等
- 運用条件・運用ルールWG
  - ・ローミング開始・終了の条件等
  - ・事業者間の連絡手段等
  - ・設備容量逼迫に係る接続規制の在り方等
  - ・ローミング開始・終了時の関係機関への連絡方法等
  - ・設備の障害発生部位等に基づく運用ルールのパターン分け等
  - ・利用者(Visitor)の一般の通信に対する通信規制の適切な措置等
  - ・ローミング開始時の障害発生状況等の携帯電話事業者間の情報連携等
  - ・ローミング実施時のデータ共有等
- 端末検討WG
  - ・ローミング時の携帯端末の動作確認等(試験方法、実施体制、試験結果の周知広報等の在り方)
  - ・専用アプリ等による切り替え対応等
  - ・IoT機器の設定切替可否及び対策等
- 周知広報活動WG
  - ・回線切り替え時に必要な端末操作に関する周知広報等
  - ・回線切り替え時に必要な端末操作利用者参加型の訓練と手法等
  - ・IoT機器ベンダー等への周知等
  - ・周知広報が継続的かつ効果的に行われるための具体的方策等
  - ・障害発生時の障害状況の分かりやすい可視化(GISデータを用いた精度の高い提供方法)等
  - ・ローミング実施時の周知広報等
  - ・代替的に使用できる通信手段に関する周知広報等
  - ・事業者間ローミングの実績の公表等
- 事業者間精算WG
  - ・事業者間の料金精算や利用者(Visitor)の料金・サービスの在り方等

## 6. 当面のスケジュール

